



信念を貫き

世界一を目指す技術屋

おかもと かげとし
岡本 景壽 さん



研究所には希少な機械がそろそろ

PROFILE

おかもと かげとし(合戸在勤・73)
ウシオケミックス株式会社代表取締役。
社員数40数人という少数精鋭で
最先端技術の革新に挑む。

産業技術の振興に寄与

県は、科学技術水準の向上に優れた成果を挙げた研究者などを表彰する「静岡県科学技術振興表彰」を実施している。市内に研究所と工場を構えるウシオケミックス株式会社の代表取締役岡本景壽さんが、産業技術振興の功績を認められ表彰された。

同社は、テレビなどのディスプレイに使われる液晶材料や、有機エレクトロルミネッセンス(有機EL)材料の研究と製造をしている会社。岡本さんは「工業製品や医薬品といったものは商品になるまで長い年月がかかる。当社で扱っている液晶や有機ELも、成果や利益が出るまで30年かかった。諦めず追いかけてきたものが認められてうれしい」と受賞の気持ちを話す。

世界一を目指す

岡本さんの会社で製造されている有機ELは現在、世界最高レベルの99.999%の純度。純度があがるほど省エネで長寿命の製品ができ、用途も広がる。「世界一の高純度を目指す」と始め、今に至る。

今後はさらに純度を高め、有機太陽電池パネルを作ろうと目指している。実現すれば、現在普及している太陽電池パネルの約3倍の効率で電気に変換できるようになり、世界が大きく変わる」と話す。

「日本はかつて、ものづくり大国と言われていた。今は当社の技術も海外へ提供していてもさみしい。昔のように、日本の中で『もの』が作り上げられるように創業者精神を持つことが大切」と歯がゆい思いを打ち明けた。

たゆまぬ努力で高みへ

ウシオケミックスが提供する液晶材料は、液晶パネルに使用される材料の2割を占める重要なもの。岡本さんは「それだけ技術が認められているということとで技術屋冥利に尽きる」と笑顔で話した。

机上論よりも実際に現場を知り、地道な実験を繰り返すことを大切にしている岡本さん。華々しい成果は日々の探究から生まれている。

研究者と経営者どちらの立場としても常に向上心を忘れない岡本さんの姿勢が御前崎から世界を変えていく。